

神戸市の小学校の取り組みを紹介した記事です。
この中から次のことを示す部分を抜き出して書きま
しょう。

①いつ 年 月 日

②どこで 市 区の 小学校

③誰が

④何を

⑤なぜ

⑥どの
ように

地震あったら どうする？

新聞でスリッパを

大学生が「出前授業」

西区・木津小



人に、災害への備えの大切
さや正しい行動の仕方など
を教えた。

同委員会は、これからの
まちづくりを担う大学生が
中心となって結成され、2
017年から同授業を続け
ている。

この日は、新聞紙を使っ
てスリッパを作る体験学習
のほか、「歩道を歩してい
る時に地震の揺れを感じ
た。命を守るには」「1人
で家において、地震が起こつ

た時にはどうする」など、
学生が防災に関するクイズ
を出し、地震の際の正しい
行動や対処法を説明した。

また、昨年6月の大阪北
部地震で、小学生が倒壊し
た壁の下敷きになり亡くな
った事例などを紹介し、「自
分の身は自分で守る」と呼
び掛けた。草山梨子さん
(11)は「南海トラフ地震も
起きる可能性がある。知ら
ないことが聞けて良かった」と話した。(長沢伸一)

阪神・淡路大震災の教訓
や記憶を次世代につないで
いく「ぼうさい出前授業」

が15日、西区桜が丘東町5
の木津小学校であった。県
内の大学生らでつくる「1

防災に関するクイズに
答える児童たち―木津
小学校

17 KOBEぼうさい委員
会(事務局・神戸新聞社)
のメンバーが、5年生約60